

市内バスネットワーク維持に向けた取組みについて

1. 令和6年度路線バス収支状況について

奈良交通㈱から説明

2. 前回協議会以降の各路線の動き

2.1 ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線

・第12回三者協議(8月21日)@生駒市図書館

【地域の参加者】8名(対象自治会:ひかりが丘、北田原町、西白庭台1丁目、2丁目、3丁目、上町台、白庭台、あすか野、あすか台、上町、小明町、辻町)

【内容】ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用状況(ICカード実績)と前回の三者協議で出た市や奈良交通に対する質問への回答を共有し、協議テーマに基づいて意見やアイデアを話し合った。

【資料3-2】ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線 第12回三者協議ニュース

・第13回三者協議を11月21日に開催予定。

2.2 北田原線

・第7回三者協議(8月25日)@南田原町集会所

【地域の参加者】17名(対象自治会:北田原町、南田原町、星和台)

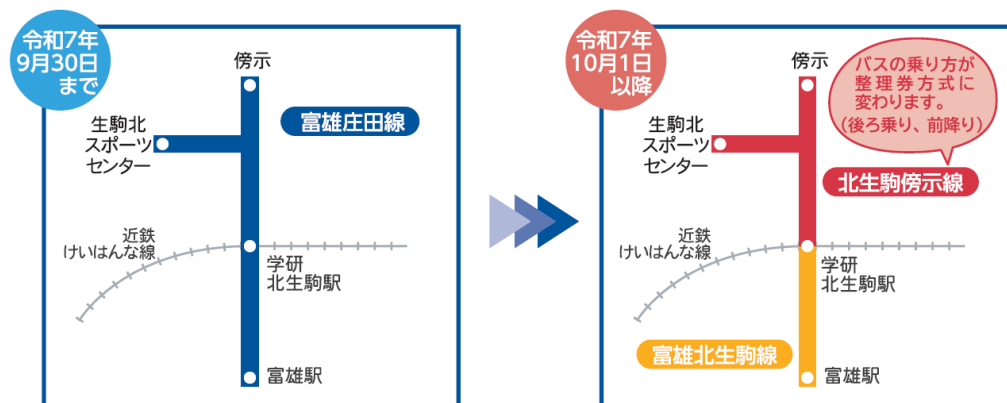
【内容】北田原線の利用状況(ICカード実績)と前回の三者協議で出た市や奈良交通に対する質問への回答を共有し、自治会ごとにグループに分かれてテーマに沿って話し合った。

【資料3-3】北田原線 第7回三者協議ニュース

・第8回三者協議を11月5日に開催予定。

2.3 富雄庄田線(10月1日以降富雄北生駒線・北生駒傍示線)

・10月1日に利便増進実施計画に基づく路線再編を実施し、富雄庄田線を廃止した上で、新たに富雄北生駒線と北生駒傍示線を新設。また、新たに自由乗降バス停として「くろんど池口」を設置した。沿線自治会(傍示、獅子ヶ丘、庄田、大北、久保、宮方、芝)には概要ちらし及び新時刻表を全戸配布し、関係自治会(ひかりが丘)に回覧を実施した。



3. ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線、北田原線三者協議の休止について

3.1 これまでの経緯

令和4年3月に奈良交通㈱から廃止・見直しの提案があったひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線、北田原線について、その運行の継続に向けて令和5年2月以降、利用者(地域)・奈良交通㈱、市の三者で協議を行う三者協議を順次開催してきた。

【これまでの開催実績】

■ひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線

	開催日	参加人数
第1回	令和5年2月15日	13人
第2回	3月22日	3人
第3回	5月31日	14人
第4回	7月6日	34人
第5回	8月10日	14人
第6回	11月16日	11人
第7回	令和6年6月14日	28人
第8回	9月24日	8人
第9回	令和7年2月28日	13人
第10回	4月20日	10人
第11回	6月25日	6人
第12回	8月21日	8人

■北田原線

	開催日	参加人数
第1回	令和6年2月21日	28人
第2回	6月6日	14人
第3回	8月21日	18人
第4回	10月18日	17人
第5回	12月19日	17人
第6回	令和7年6月24日	18人
第7回	8月25日	17人

三者協議を通じて利用者(地域)が中心となり、令和5年度にはひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線で「バスに乗ろうポスターコンクール」を実施、令和6年度には北田原線で「北田原線沿線おでかけマップ」を作成する等、活発な利用促進の取組みを実施してバス利用者が増加傾向となったことが後押しとなり、令和6年3月には奈良交通㈱と市との間で連携強化に関する協定書を締結した。これにより、国等の補助制度を活用しながら今後市が奈良交通㈱に対し財政支援をすることで、廃止・見直しの提案があった市内各路線の運行継続が決定した。

3.2 三者協議の役割・効果

奈良交通㈱からのバス路線の廃止・見直しに対応するために開催してきた三者協議が果たした役割と効果については次のとおり。

- ①地域と事業者、行政の三者が一緒になって路線の在り方を考える協議体の実現
- ②路線バスの現状と目標を共有し、地域に広く問題意識を浸透
- ③地域のニーズや意見、要望を吸い上げて協議会に報告し、行政と事業者の施策に反映
- ④地域主体の利用促進策の実行を通じて、地域が支えるマイバス意識を醸成

3.3 三者協議の休止について

廃止・見直しの提案があった市内バス路線の運行継続という、立ち上げ当初の目標が達成され、三者協議における議論でも路線の維持・存続の内容は終息したため、これまで定期的に開催してきたひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線、北田原線の三者協議を休止する。

3.4 今後の方向性

市内バス路線の収支均衡は未だ達成できておらず、引き続き利用促進の取組みは極めて重要であるため、これまで三者協議を開催してきたバス路線の沿線に限らず、市内バス路線の沿線に入って、地域の住民とともに取り組む利用促進を市として継続していく。なお、改めて市内バス路線の廃止・見直し提案が奈良交通㈱からあった場合には、その該当路線の関係地域において三者協議の再開や新たな立ち上げを検討する。

4. 利用促進の取組報告

4.1 生駒北小学校でのバス利用啓発授業【7月4日、7日】



7月4日の様子



7月7日の様子

・生駒市地域公共交通利便増進実施計画【高山地区】を策定し、利便性の向上による利用者の増加を通じて運行の維持を図っていく富雄庄田線(10月1日以降、北生駒傍示線)について、昨年に続き生駒北小学校の4年生(23名)を対象にバス利用啓発授業(7月4日@奈良交通北大和営業所、7月7日@生駒北小学校)を実施し、路線バスの現状と今後の路線見直しの方向性をお知らせしたうえで、バス利用の呼びかけを行った。

4.2 IKOMA サマーセミナー2025「おでかけマップでよこみち歩き疑似体験」【8月31日】

- ・8月31日に開催された「IKOMA サマーセミナー2025」において、エコネットいこまと市が共同で「おでかけマップでよこみち歩き疑似体験」の講座を開催。
- ・6名の方が参加し、市内の路線バス現状と利用促進の取組み状況を共有し、「北田原線沿線おでかけマップ」を配布した上で、グループワークを通じて生駒駅の南側(本町地区)のおでかけマップ案を作成。
- ・当日作成した案を元に完成した「本町地区おでかけマップ」は市 HP にて公開中。



市 HP「本町地区おでかけマップ」

4.3 いきいき百歳体操@あすか野南集会所での利用促進ちらし配布【9月25日】

- ・ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の三者協議を通じて作成した、バスを使ったおでかけプランちらしを配布し、9月25日のあすか野南集会所のいきいき百歳体操において参加者へバス利用のよびかけを行った。



4.4 転入者向けに「いこま公共交通マップ」配布開始【10月1日】

- ・令和6年度から作成に取り掛かり、10月1日の富雄庄田線の路線見直しを反映して完成した「いこま公共交通マップ」について、市民課にて転入者向けに配布を開始した。また、防犯交通対策課窓口や市内公共施設等でも同様に配布する。

5. 今年度の取組み

5.1 バス運賃無料 DAY の開催日決定

- ・バス運賃無料 DAY の開催日が令和7年2月1日(日)に決定しました。当日は「ららまつり」「くらしのブンカサイ」の開催日にもなっています。